

令和7年1月21日、ホテル阪神において恒例の新年互礼会が開催されました。
令和6年度の顕彰者の皆様をご披露します。おめでとうございます。



<日本武道協議会>

武道功労者 島野 大洋氏

<全剣連>

功労賞 大田 友康氏

有功賞 西口 芳治氏

井口 昭則氏

下田 衛氏

少年剣道教育奨励賞

豊中剣道教室 豊剣教（豊能地区）

<大阪府 生涯現役スポーツ賞>

金賞 濱野 秀敏氏

銀賞 丸川 忠篤氏

永橋 正弘氏

池田 國宏氏

団体賞 若竹会

<剣道八段 御昇段>

西村 英輔氏

<全国大会優勝>

全国警察剣道大会男子団体戦 第1部 大阪府警察



2024年12月15日(日)小瀬スポーツ公園 武道館で開催された
山梨県剣道連盟設立70周年記念 全日本選抜女子剣道七段優勝大会で、
近藤 恵子選手が見事3位に入賞しました。



 おめでとうございます！！



<試合結果>

優勝	緒方 有希	熊本県
二位	下川 美佳	鹿児島県
三位	近藤 恵子	大阪府
	大里 史織	東京都

大阪府剣道連盟は「健康人生100年時代に向けて」シニアを応援しています

生涯剣道・リバ剣のすすめ ～「是非一步踏み出して」みませんか

学生時代に剣道の稽古に汗を流していた方々が社会人になり、仕事の忙しさや家庭の事情、周囲の稽古場所等の諸事情により、剣道再開の気持ちはあるものの一步踏み出せないという方々は意外に多くいらっしゃるのではないのでしょうか？
令和6年11月の八王子審査会で、77歳にして見事六段に合格された下定雅弘さん(月曜会)にお話を伺いました。

【略歴】

生年：昭和22年(1947)

高校：大阪府立住吉高校

大学：京都大学文学部中国語学中国文学専攻、同大学院文学研究科博士課程満期退学。文学博士

教職：鹿児島大学、帝塚山学院大学、岡山大学大学院
現在：岡山大学名誉教授、市民講座で月2回程度講義

著書：『白楽天』(角川ソフィア文庫)・『柳宗元詩選』(岩波文庫)・『陶淵明と白楽天』(角川選書)・『精選漢詩集』(ちくま新書)・『白居易と柳宗元』(岩波現代全書)、『杜甫全詩訳注』(松原朗と共編著、講談社学術文庫)、『中国古典をどう読むか』(勉誠社)など多数



【剣道は高校で始める】

中学の時、日本刀が好きになったのがきっかけで、高校で剣道を始めました。高2で初段。大学入学後、剣道部に入りましたが、5月初めあたりか、面を打った時に右側にぼったり倒れ、しばらく起てませんでした。大学の保健室に行くと脳波をとってくれ、テンカンだと言われました。そして剣道はダメ、運転免許を取るのもダメだと。やむなく剣道部を退部。以後18年ほど剣道から遠ざかっていました。

【再開】

35歳、鹿児島大学助教授に就任。保険管理センターで脳波検査をしてもらおうと正常。運動も車の運転も問題ないとのこと。間もなく大学の剣道部で稽古を再開。また大学の近くに尚武館という居合・剣道の道場があり、ここにも仕事の帰りに通いました。鹿児島では二段・三段を取得。6年務めて1988年、41歳、大阪の帝塚山学院大学に勤務先が変わります。

大阪では、自宅近くの狭山剣心会と堺の月曜会に通い、大学の剣道部の顧問になって学生とも稽古をしました。途中、1996年秋から一年、北京大学に在外研修で稽古ができませんでしたが、1999年秋、52歳で五段取得。

【どの道場でも懇篤なご指導】

2004年4月、岡山大学大学院に転職。単身赴任で週末帰阪のため月曜会では稽古できなくなり、日曜会に入会。岡山では倉敷の象士館に通いました。2012年には岡山大学を定年退職。再び月曜会に通えるようになり、2015年秋には住吉高校の後輩の紹介で難波のクボタの道場に行き始めました。

【審査では先生方の教えを素直に出せた】

コロナ禍の時期が終わって2024年4月、稽古を再開。大阪剣道同好会でも稽古させていただくようになりました。五段取得後人並みの苦勞をしましたが、これまでいろんな稽古の場で先生方に言われてきたこと「がまん、がまん」「見る」「合い気」「練る」「剣先をきかせる」「打つ気ばかりが先走ってる」等のお言葉が、十月のある日一つにまとまり、迷いがなくなりました。「交刃でしっかり中心を取り、打ち間に入った瞬間に捨て身で打つ」。この時、なにか質的な飛躍があったようです。八王子の審査ではこれをほぼ実践できたかと思います。

【剣道を生活の一部として】

剣道を続けておられる方は、皆さま、お仕事との調整が大変だと思います。私の場合、退職してからもいつも原稿の締め切りや市民講座の準備などがあって、稽古と仕事との時間のきりもりがうまくいかず、苦しい時がしばしばあります。稽古の時間に原稿を書いても気持ちが落ち着きません。しかし剣道が好きだからこそ、それが自分の暮らしなのだと思えば、日々、両立を目指しています。よく言われるように、続けることが大切だと思います。

【今の気持ち】

南宋の陸游が77歳の新春に「人生の楽処(らくしよ)君知るや否や、万事当(まさ)に心の安んずる所に従うべし」(「初春感事 又」)と詠じています。家族の健康はもちろんとして、中国文学の奥深さをたくさんの人々と共に味わい、剣道の稽古を楽しく続ける、これができるれば幸せです。

これまでの数十年、鍛えてくださった諸先生、皆さま方にここからお礼を申し上げます。そしてこれからも体が動く限り精進してまいります。どうかご指導よろしく願いいたします。

(令和6年11月23日 下定雅弘)

『三島・豊能・北河内地区(拡大)剣道講習会』開催報告

令和7年1月26日(日) 於・高槻市古曽部防災公園体育館 メインアリーナ

令和7年1月26日(日)、高槻市古曽部防災公園体育館に於いて、三島・豊能・北河内地区拡大講習会を実施。テーマは「指導法」。

講師は、島野泰山先生(主任講師)、石田真理子先生、吉田一秀先生、石田洋二先生。

各先生方の指導のポイントを以下にまとめました。

島野泰山先生

初段～八段審査全ての段位で必要なこと

●**基本の打ち方で基本の技が打っている基本が一番大事** ということ。

本番前に地げいこをしなくてもいい、と言っても過言ではない。

「攻めて、出てきたところを打つ」など考えている時点でもう違う。当てっこ剣道は駄目。無心の技を出すことが大事。

無心の技を出すためには繰り返し・打ち込みをしっかりとやること。

●**理合の剣道ができていますか** ということ。

手で打つな足で打て足で打つな腰で打て腰で打つな心で打て

◎居着くと溜める

→居着く・上半身に力が入る×

→気を溜めて下胆に力を入れる○

◎掛かる稽古と互角稽古

→下がる×

→下がらず、気あたりを頂く○

気はもらえる。そして与えることができる。

正しい剣道を！！



吉田一秀先生

少年剣道で必要なこと

●愛情をもって丁寧に誠心誠意、分かりやすく歩み寄る。

●礼儀作法を教える。義いゆる感謝、相手を敬う心から、左座右起など。

●**示範する。正しい剣道をやって見せる。**

「大きく振りかぶれ！」言うだけでは子どもには分かりにくい。

自分も勉強しなければ子どもはついて来ない。やってみて、言ってみて、褒めてやらねば習得せず。

●勝つための指導ではなく、人格形成のための指導を。

勝利至上主義→ずるい子、損得でものを考える子、無駄なことはしない子になる。

勝つことは目標にしたらいよい！

日々正しい指導を！

石田真理子先生

その人に合った指導

●警察官の指導は、いざという時も、絶対に逃げない、怯まない剣道

●一般の指導において

じっくり派、結果第一派、いろんなタイプの人がいるが、指導者側は**具体的に言葉にして「これは、このためにやっているんだよ。」と伝えながら指導する**よう心掛ける。

試合の時に大事なこと=平常心

やって来たことが自信になる。これだけやってきた、という思いが強ければ強いほど自信になる。自信が平常心へ繋がる。平常心を養う為には、稽古しかない！

石田洋二先生

剣道は理法。気剣体の一致した打ち、すなわち心法・刀法・身法が一体となっているもの。誰が見ても素晴らしい(それぞれのレベルに応じた)一本を追求すべき。

指導者がしっかりと基本を身につけなければならない。今まで経験してきた剣道を信じきって悪癖を子ども達に植え付けてしまわないように、**指導要領を読み直し、正しい剣道を継承すべし。**

●初心者・・・なかなか身につかない人も中にはいるが根気強く指導！

●上級者・・・剣の理法の修練による見事な一本を目指しよう、正しい基本を行う。

自分の指導がマイナスにならないよう、**自己研鑽すべし。稽古して、勉強して、常に上を目指し、専門性を高めること。**

おおさか剣道かわら版からのお知らせです
新シリーズ「(なんもり)南森界限 歴史探訪散策」 近日公開

乞うご期待 \ (^o^) /



1. こんな企画です

江戸時代の大阪は商人の町として有名ですが、結構武士や剣豪の活躍する世界があったとか。それが今の大阪の剣道界の隆盛につながっているかも。

そして、皆さんの剣道連盟のある南森町界限には、幕末江戸の歴史遺跡がたくさんあります。幕末江戸三大道場の一つ、桃井春蔵直正の道場がこの南森町近辺にあり、「位は桃井、技は千葉、力は斎藤」とうたわれ、あの千葉周作や斎藤弥九郎と並び称された桃井春蔵が今年生誕 200 年を迎えるということで、こんな企画を考えてみました。

2. おすすめ 6 コース MAP を紹介します

ご案内するのは、趣味で歴史散歩を研究している教職員クラブの柴田洋一先生(剣道四段、居合道初段、地元旧扇町総合高校教諭、大阪検定(1級)客員研究員ほか歴任)です。

①<東>(5 月新緑の時期)《往路》JR 大阪城北詰駅

②<南東>(7 月天神祭の時期)

《帰路》【大剣連事務所】→ 天満橋

③<北北西>(酷暑の 9 月の時期)

《往路》メトロ天神橋筋六丁目

④<北西>(11 月イチョウか 1 月戎祭の時期)

《往路》メトロ 中崎町駅

⑤<北東>(3 月桜の時期)《往路》JR 桜ノ宮駅

⑥<南西>(5 月バラの時期)

《帰路》【大剣連事務所】→ メトロ北浜・淀屋橋

3. 「ひと駅向こうからテクテク」してみませんか？

事務所までの南森界限散歩を通して、

- ・石碑や建物をたどるだけでなく、
- ・季節を感じ、目で見える風景や吹く風や匂いも楽しむことができる
- ・個人的に読んで知る、自分で実際に歩いてたどる
- ・そのついでに自分なりに思わぬ新たな発見をする
- ・つぎに来ることが楽しみになる
- ・あるいは、今度は別の道をたどりたくなる

事務所へのお出かけに付加価値が付け加わるかも。

そして、テクテク歩いたエピソードと感想と写真を投稿してください。

4. 反応次第で続編「深掘りシリーズ」も

* 桃井春蔵 (生誕 200 年)

* 小林佐兵衛 (小説『俄(にわか) - 浪華遊侠伝』の司馬遼太郎生誕 100 年)

・・・他、いろいろ候補があります。

「身近な剣連に」

(おおさか剣道かわら版編集 WG より)



貴重な資料、眠っていませんか？



大阪府剣道連盟では、先人の教えを後世に伝承することを目的に、皆さんがお持ちの貴重な資料等を収集させていただくことにしました。ついては、下記の要件に合致する資料等を所有されている方がおられましたら、何卒ご寄贈いただきますようよろしくお願いいたします。

なお、将来的には皆さんが閲覧できるような仕組みを作り、有効活用を図っていく予定です。

①対象物

剣道、居合道、杖道等に係る資料等

(例えば、「先人の教え」「道場訓」など)

②方法

連盟事務所に持ち込みいただくか、郵送等でお送り下さい。ただし、汚損、破損、書き込み等がある場合や資料等の価値を判断した上で、受領をお断りすることがあります。その場合はご連絡を差し上げた上で廃棄させていただきます。

③募集期限 令和 7 年 9 月末まで

(古書整理小委員会)